

黄門さまのくすり

テレビで水戸の黄門 ます。

さまが「この紋所が目に入らぬか」と高々とかかげる印ろう、あれは黄門さまの携帯薬入れです。中には黄門さまのお薬である、牛黄（ごおう）が入っていました。

牛黄は、古来中国や日本で貴重な

薬として使用されてきました。牛1000頭に1頭の割合で発見される天然の胆石であり、更に最近では安全性を最優先に採取されるため、とても貴重で高価な生薬となっています。

阿部 佐知子の

国際中医師

続

漢方



豆知識

の気血の流れや働きが滞って閉じているところを開き、働きを甦らせて活き活きとさせる働きがあります。

そのため、動悸や息切れの気付け薬に配合されていることも多いです。

また、解毒作用や清熱作用に優れ、頭の働きをスッキリとさせ、脳のストレスを軽減します。

<第二十話>

脳梗塞や心臓疾患だけではなく、痴呆や物忘れの予防にも役立つため、長寿国日本で牛黄は注目すべき生薬の1つと言っても良いかもしれません。

黄門さまは牛黄を服して心も体も

元気に旅に出ていたのではないのでしょうか。

.....

◆飯島仁生堂薬局本店
足立区千住1-29-2

☎3881・2273

<http://www.jinseido.co.jp>

©薬剤師さん募集